

観光創造専攻

平成21年度
前期

日本語論述

13:30～15:30

解答上の注意

- 1 試験開始の合図があるまで、この問題紙を開いてはならない。
- 2 問題紙は、この紙を含めて2枚である。
- 3 解答用紙(25字×40行=1000字)は、2枚ある。
- 4 解答用紙は、2枚とも必ず提出すること。
- 5 受験番号は、すべての解答用紙の指定された個所に必ず記入すること。
- 6 選択した問題番号は、すべての解答用紙の指定された個所に必ず記入すること。
- 7 解答は、すべて解答用紙の指定された欄に記入すること。
- 8 下書き用紙は別途配布されるが、問題紙の余白を下書きに使用してもさしつかえない。
- 9 問題紙および下書き用紙は持ち帰ること。

以下の問題1～3のうちから1題を選択し、1600～2000字の日本語(横書き)で解答しなさい。

【問題1】

国土交通省は、これまでのマスツーリズムと並んでニューツーリズムの登場に着目した観光政策を模索し始めている。まず、マスツーリズムとニューツーリズムについてそれぞれに概念規定を行い、次ぎに、デスティネーションの地域経済や暮らしの在り方に対するそれぞれのメリットとデメリットについて自由に論じなさい。

【問題2】

1970年代以降、地球レベルでの環境問題が取り上げられ、観光開発やリゾート開発の諸問題について様々な議論がなされるにいたっている。サステイナブル・ツーリズムや自律的観光などについての諸論を紹介し解説すると共に、あるべき旅と滞在のかたちについて自由に論じなさい。

【問題3】

高速交通手段の普及や高速情報網の整備に伴って、観光の国際化が著しい現代社会において、インバウンドやアウトバウンドを通じた生活文化の変容や経済関係の緊密化・一体化が生じている。こうしたツーリズムの国際化に伴う伝統的生活様式の変容や経済的相互依存関係の深化について説明し、あわせてツーリズムの功罪について自由に論じなさい。